

1. 《平成27年度法人ビジョン》
  - ①経営の強化
  - ②サービスの質の向上
  - ③教育システムの充実
  
2. 《ビジョン》
  - ①本園と、とも分園の密な連携。
  - ②地域住民と共に歩む保育園を目指す。
  - ③一人一人を大切にする保育の継承。
  - ④保育者の人間力・保育力の向上。
  - ⑤人材確保。
  
3. 《基本方針》
  - ①子どもを第一に考え、保護者に寄り添い、共に育てる。
  - ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努める。
  
4. 《中長期目標》
  - ①とも分園は、住民と共に歩む。  
→マンション住民の方にも見に来て頂き、知っていただく努力をした。
  - ②保育理念を共有し安定した保育を行う。  
→保育理念について研修を行い、全職員で共通理解した。
  - ③研修の充実を図る。  
→園内外の研修を積極的に受講し、他の職員に伝達を行い共通理解した。
  - ④求人活動を積極的に行う。  
→人材確保の為、多角的に求人を行った。就職フェアの参加。
  - ⑤保育要領・新制度を理解し、保育教育に当たる。  
→新制度についての研修を行い、全職員共通理解のもと保育教育を行った。
  
5. 《平成27年度目標》
  - ①本園と分園の連携がスムーズに図られるよう、全職員で共通理解する。  
→連携について話し合いを重ね、全職員で理解し、交流をたくさんはかった。
  - ②とも分園は、住民との触れ合い・子育て支援をたくさん取り入れ、共に歩む。  
→園庭開放や行事のお知らせを配布し、遊びに来ていただいたり、育児相談も行った。
  - ③特色・サービスの視覚化を進める。  
職員紹介ニュースを発行し、保護者と職員との交流を深める。  
本園ホームページ（PC・スマートフォン）の更新を行う。  
とも分園ホームページ（PC・スマートフォン）の作成する。  
地域の施設・学校・関係者に園だよりなどを配布する。  
湊川神社への避難訓練時、腕章をつけて、地域の方に知っていただく。  
園庭開放、子育てひろばにて、保育園を知っていただく。

園庭開放ポスターを病院等に掲示して頂く。

→たくさんの方に大慈保育園を知って頂けるように手紙・ポスター・ホームページなどを活用した。

④保育理念をよく理解し、丁寧に保育を行う。

→職員会議、伝達会議を深め、パート職員まで全職員が丁寧な保育を行うようにした。

⑤職場内、職場外研修を行い、全職員で共通理解する。

- ・職員の資質向上のため職員会議ごとに研修・伝達講習・ブレインストーミングを行う。
- ・大慈1日研修を行う。

→研修報告を行い、共通理解し保育園全体で取り組むことができた。

職員の資質向上のため、職員会議毎に研修・伝達講習を行った。

11月23日、3園合同で、午前中は園長による「新制度について・教育保育要領について」  
午後は、エールによる「運動遊び」の研修を行った。

⑥保育要領・新制度の理解が深められるよう努める。

→11月23日、3園合同研修で理解を深め、全職員で共通理解できるよう努めた。

## 6. 《行事計画》

### 年間行事

月	行事名
4月	入園式
5月	春の遠足（5歳児）
6月	お楽しみ会 歯科教育指導
7月	全園児プール開き 七夕祭り ワークキャンプ受け入れ
8月	地藏盆
9月	運動会 お泊り保育 遠足 中央区5歳児交流
10月	運動会 お泊り保育(5歳児) 秋の遠足（全園児）
11月	作品展 参観ウィーク お楽しみ会 津波避難訓練
12月	音楽会 クリスマス会
1月	おもちゃつき よいこの集い 六甲山スキー遠足（5歳児） お楽しみ会
2月	生活発表会 ピドスコープ撮影
3月	お別れ遠足(全園児) お別れ会 卒園式 津波避難訓練

### 月間行事（月1回）

お誕生日会 育児支援講座 防災訓練 防犯訓練 ECC 英語あそび

### その他

- ・盲学校幼稚園部児童との交流 週1回
- ・事故対応訓練（SIDS・プール事故・アレルギー対応）
- ・消火器 火災報知器の点検 年2回
- ・消防署による消防訓練 年1回
- ・警察署による交通安全教室・防犯訓練 年1回
- ・消防署への避難訓練報告 年1回

9. 《保健衛生計画》

項目	頻度等
園児・職員定期内科健康診断	園児5月・11月 年2回 職員年1回
園児歯科健診	6月・11月 年2回
園児耳鼻科健診	6月 年1回
園児眼科健診	6月・2月 年2回
園児発育測定	月1回
園児検尿・ぎょう虫検査	兵庫県予防医学協会により年1回
調理員・保育士全員検便	(株)アリケンにより月1回以上
調理室の消毒	サニックスにより月1回
グリストラップの清掃	乾商事により年4回
エアコン・換気扇の清掃	乾商事により年1回

10. 《平成27年度在籍児一覧表》( )は分園

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
4月	8 (7)	26 (8)	29 (9)	31 (6)	30 (5)	30	154 (35)	118%
5月	8 (9)	27 (9)	29 (9)	31 (6)	29 (5)	30	154 (38)	120%
6月	8 (9)	26 (9)	29 (9)	29 (6)	29 (5)	29	150 (38)	118%
7月	8 (9)	27 (9)	29 (9)	29 (6)	29 (5)	29	151 (38)	118%
8月	8 (9)	27 (9)	29 (9)	29 (6)	29 (5)	29	151 (38)	118%
9月	8 (8)	27 (9)	29 (9)	29 (6)	28 (5)	29	150 (37)	117%
10月	8 (8)	27 (9)	29 (9)	29 (6)	28 (5)	29	150 (37)	117%
11月	8 (8)	27 (9)	29 (9)	29 (6)	28 (5)	29	150 (37)	117%
12月	8 (8)	27 (9)	29 (9)	29 (6)	28 (5)	29	150 (37)	117%
1月	8 (8)	27 (9)	29 (9)	29 (6)	28 (5)	29	150 (37)	117%
2月	8 (8)	27 (9)	29 (9)	29 (6)	28 (5)	29	150 (37)	117%
3月	8 (8)	27 (9)	29 (9)	29 (6)	28 (5)	29	150 (37)	117%
合計	195	429	456	424	402	350	2256	118%

11. 《リスクマネジメント報告》本園

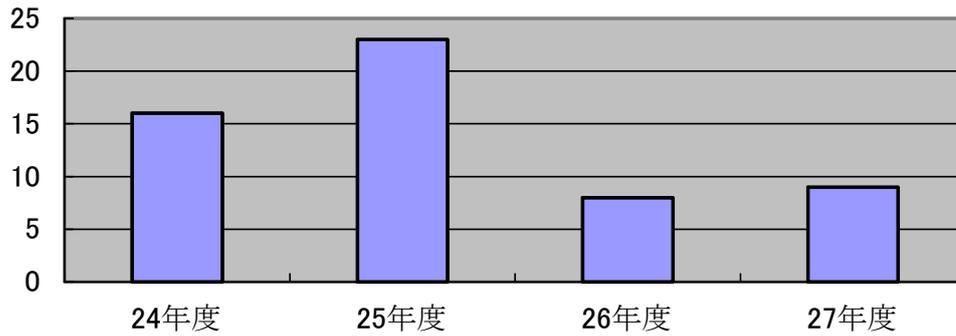
※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

報告 件数	平成27年				報告 件数	平成26年度			
	合計件数	事故	ドキドキ	処置		合計件数	事故	ドキドキ	処置
	861件	9件	692件	121件		853件	8件	659件	186件

25年度 650件 (事故23件、ドキドキ393件)

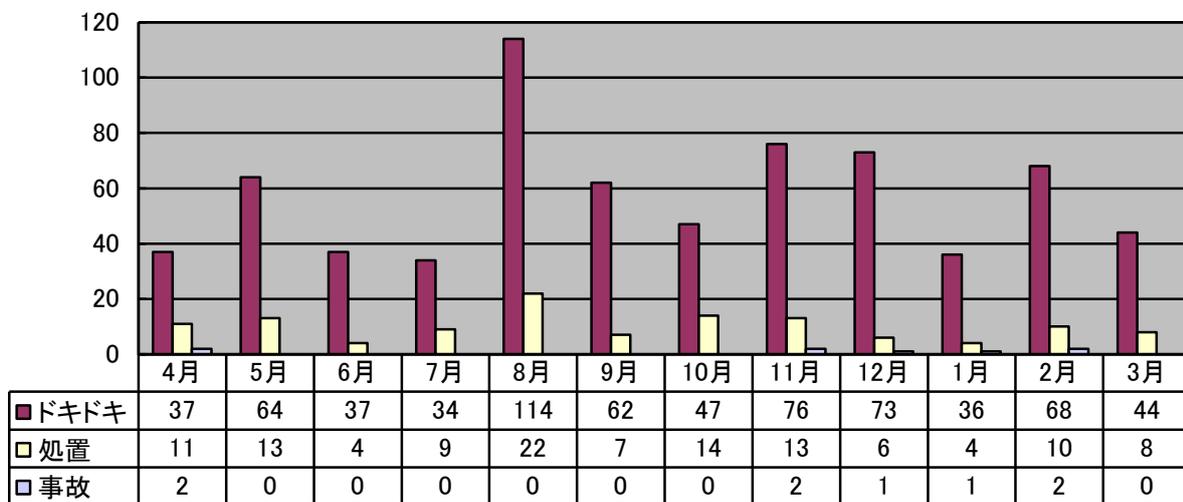
24年度 709件 (事故16件、ドキドキ477件)

### 年度別事故件数



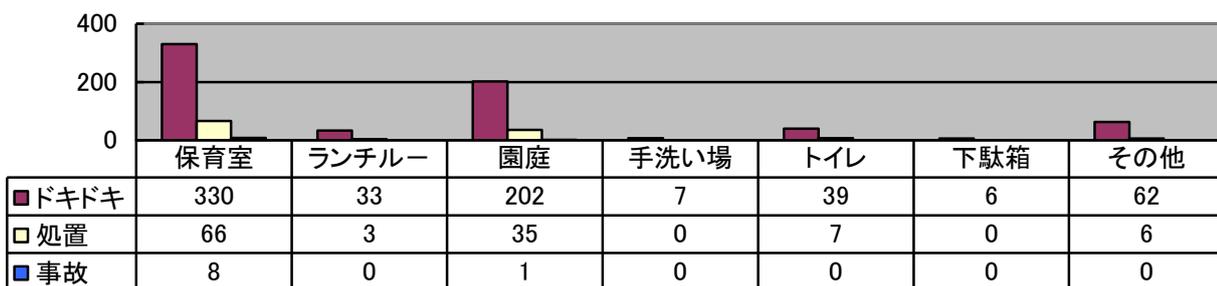
### ①月別発生件数

→水遊びや運動遊びなど活動が活発になる8月が多い。



### ②場所別発生件数

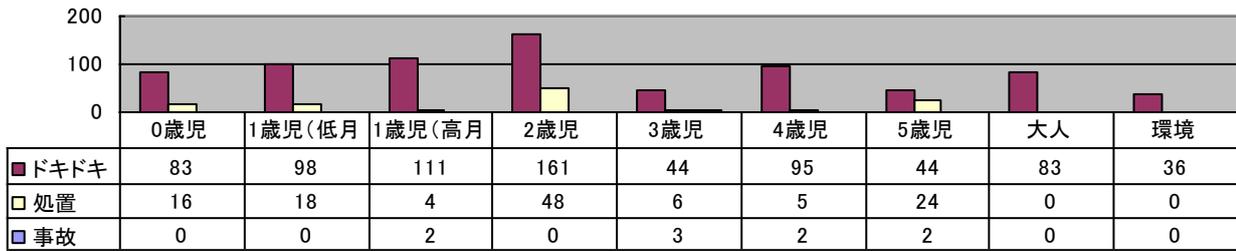
→子どもが長い時間過ごす場所が目立っている。



### ③クラス別発生件数

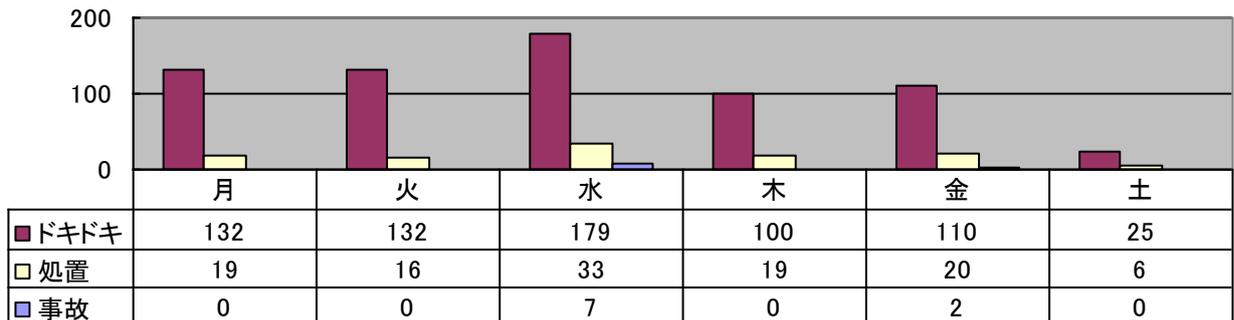
→乳児は嘔み付きが多い

幼児は遊びの中からの怪我、友達との関わりによるものが多い。



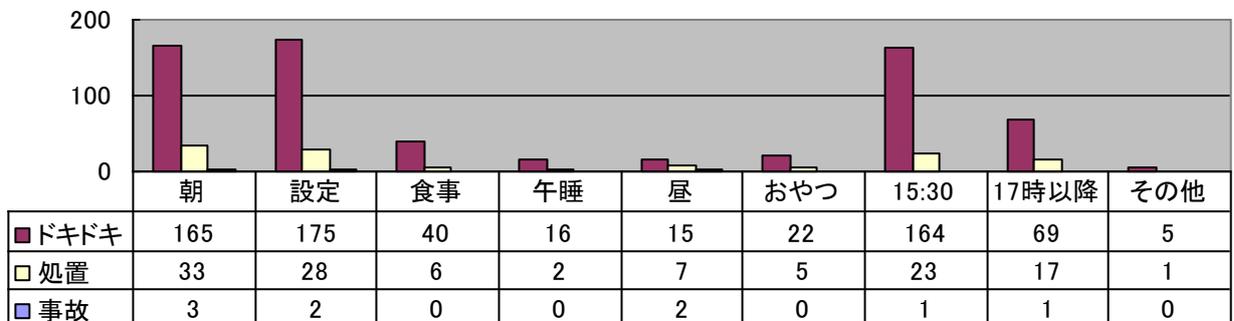
④曜日別発生件数

→水曜日に多いのは、週の中頃で疲れがたまっていて、注意力が低下していると考えられる。



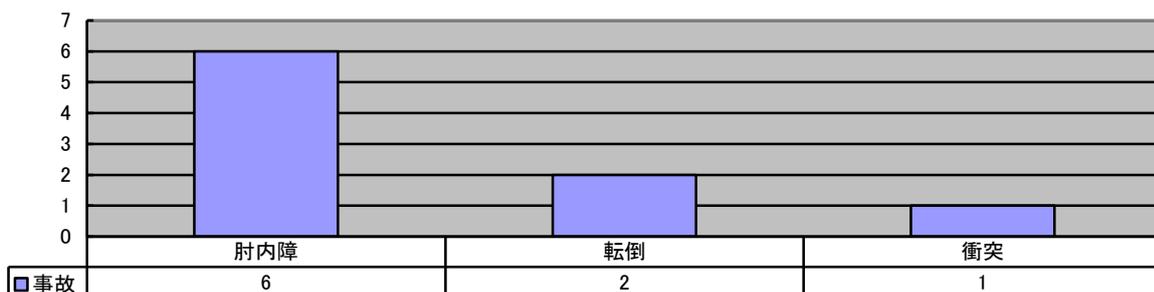
⑤時間帯別発生件数

→子どもの活動が活発な設定や15:30以降の時間帯に危険な行動が多い。  
又、保育士が少ない朝、15:30以降が目立っている。



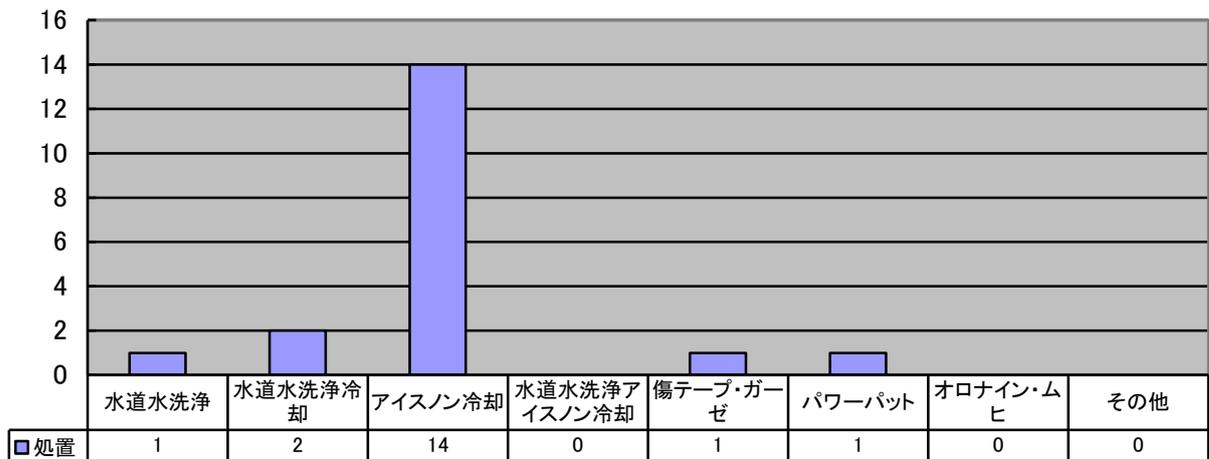
⑥事故発生内容

→肘内障が多く見られた。一度抜けると癖になっていることがある。



⑦処置内容

→転倒、噛みつきにより、アイスノン冷却や水道水冷却が多い。



⑧まとめ

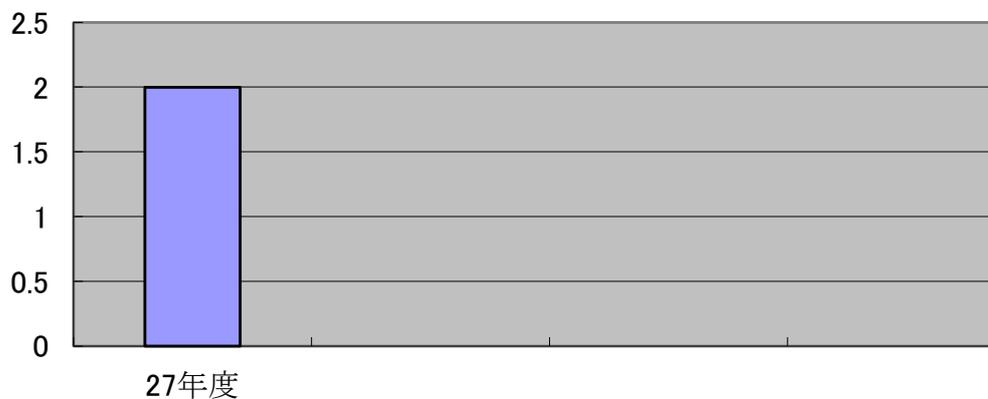
乳児の噛みつき、設定保育の時間帯、保育室など同じケースのドキドキが多く出ている。幼児は友だちとの関わりで揉めることが多い。

《リスクマネジメント報告》分園

※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

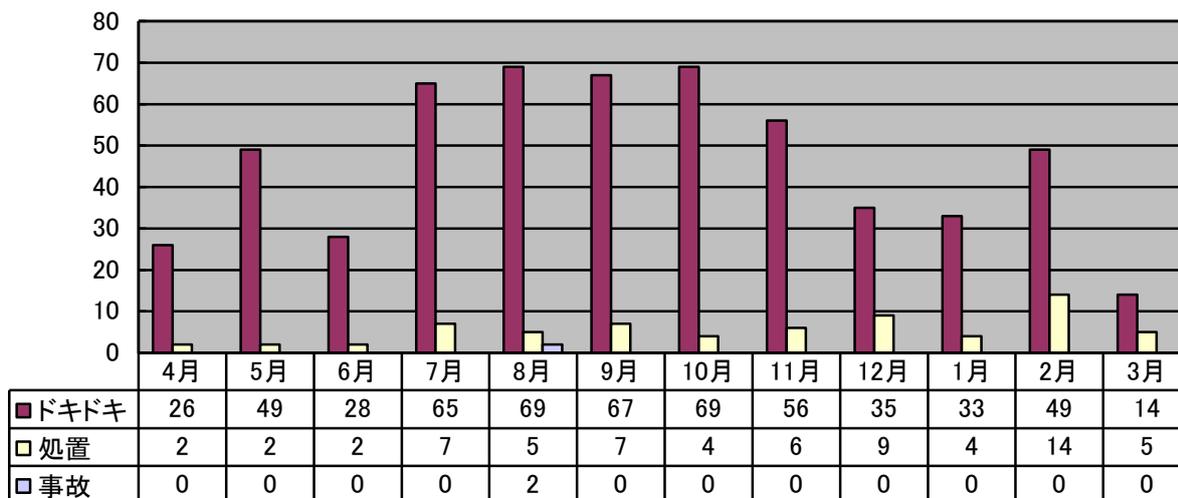
平成 27 年					平成 年度				
報告件数	合計件数	事故	ドキドキ	処置	報告件数	合計件数	事故	ドキドキ	処置
	632 件	5 件	560 件	67 件		件	件	件	件

年度別事故件数



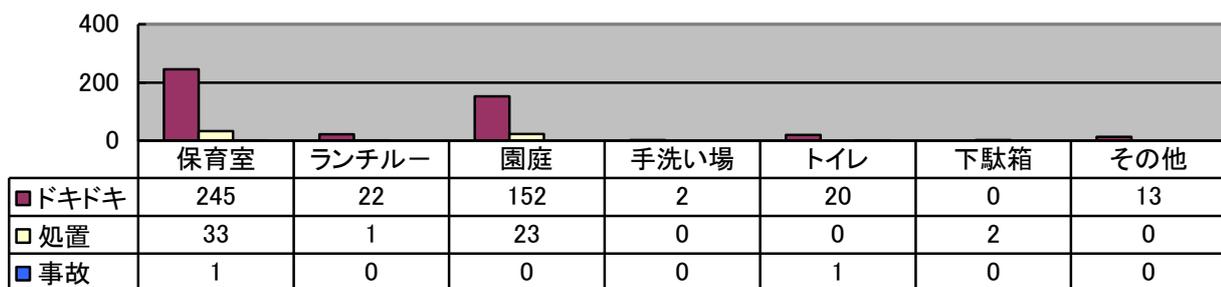
① 月別発生件数

→2件ともに8月でした。



②場所別発生件数

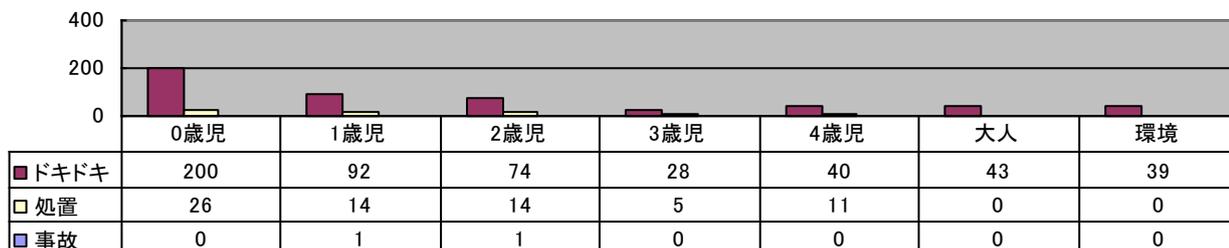
→子どもが長い時間過ごす場所が目立っている。



③クラス別発生件数

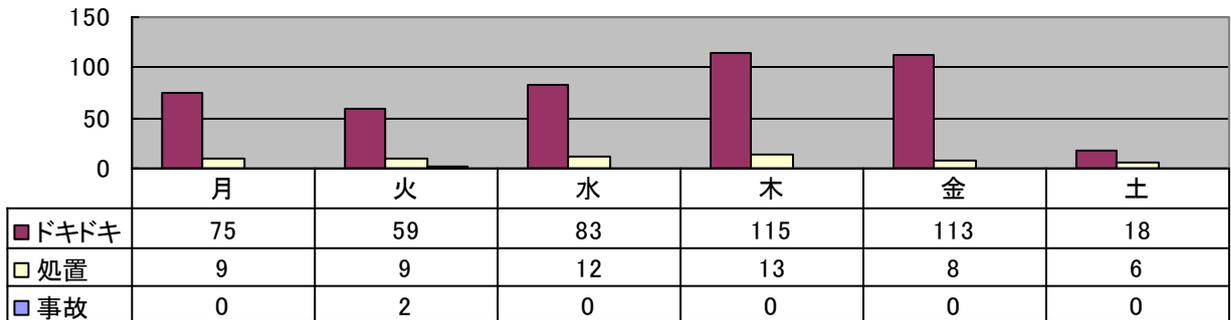
→乳児は噛み付きが多い

幼児は遊びの中からの怪我、友達とのトラブルによるものが多い。



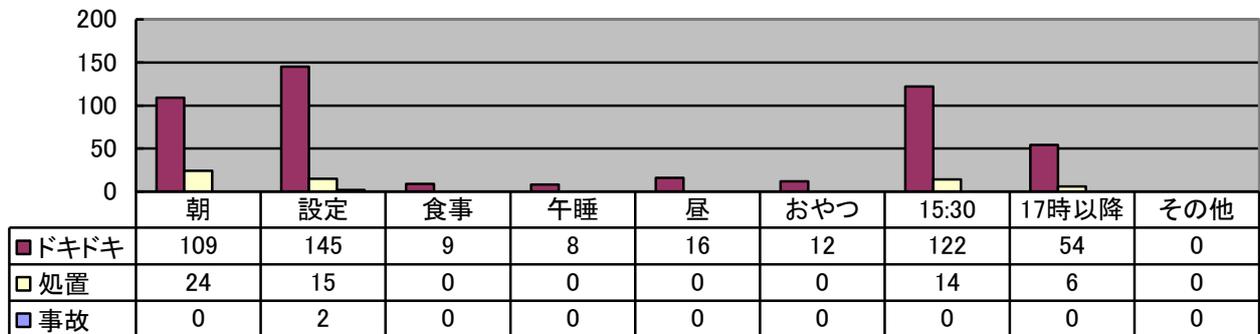
④曜日別発生件数

→週末に多いのは、週の終盤で疲れがたまっていて、注意力が低下していると考えられる。



⑤時間帯別発生件数

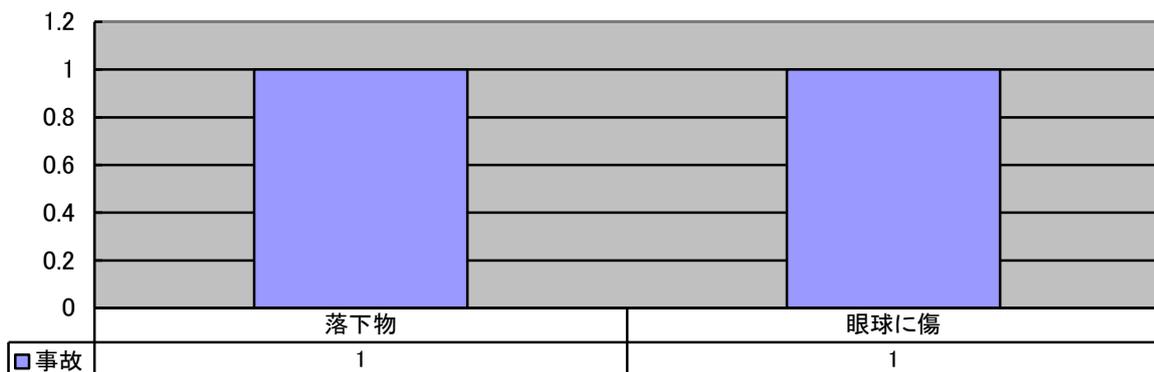
→子どもの活動が活発な設定や15:30以降の時間帯に危険な行動が多い。



⑥事故発生内容

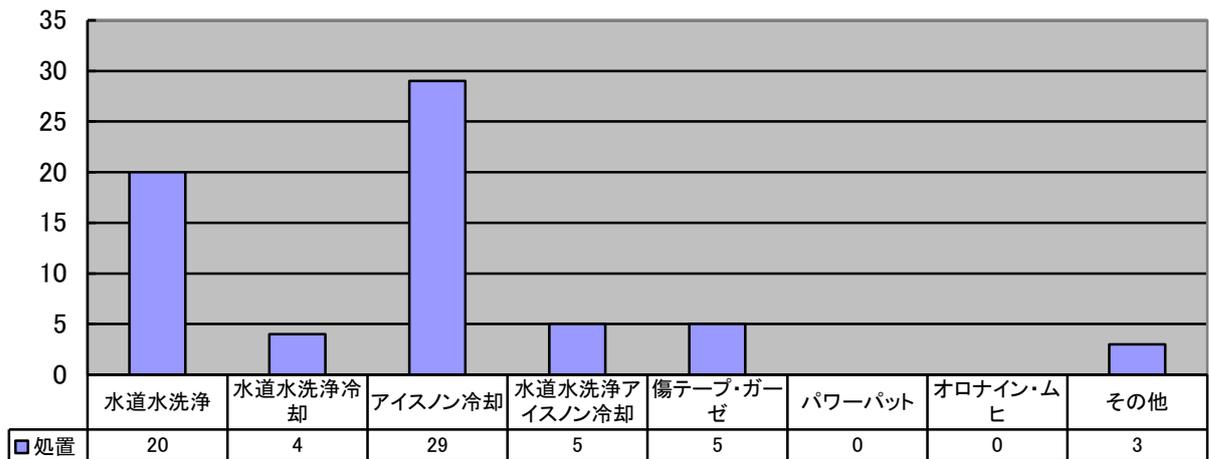
→大きな事故はなく、念のために受診したケースばかりだった。

棚が目当たって充血したことにより受診、友だちの指が目に入り充血したため受診の2件だった。



⑦処置内容

→転倒、噛みつきにより、アイスノン冷却や水道水冷却が多い。



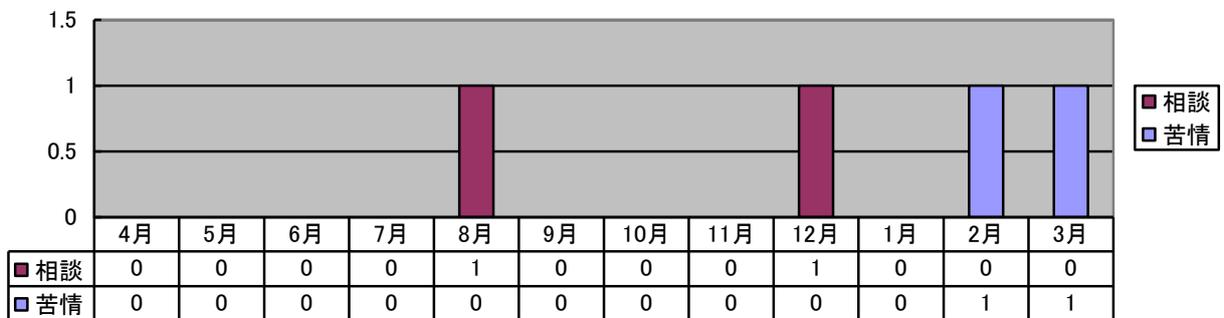
⑧まとめ

乳児の噛みつき、設定保育の時間帯、保育室など同じケースのドキドキが多く出ている。今後も全職員でドキドキを出し合って、意識を高め、事故防止に努めたい。

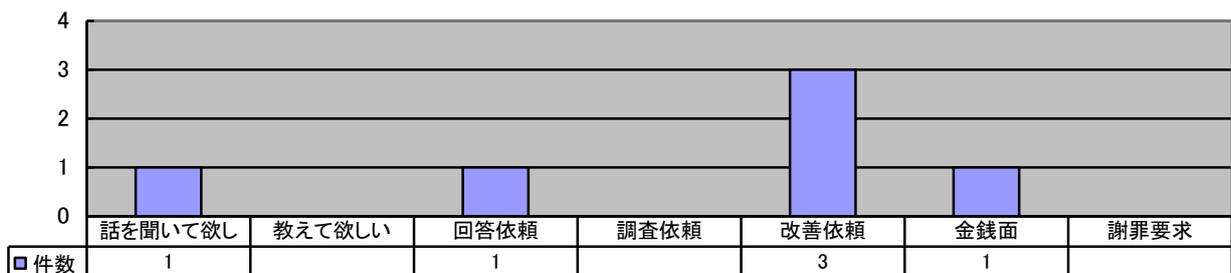
1 2.《苦情・相談結果報告》本園

苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

○報告件数・・・・・・ 4件（内苦情2件）

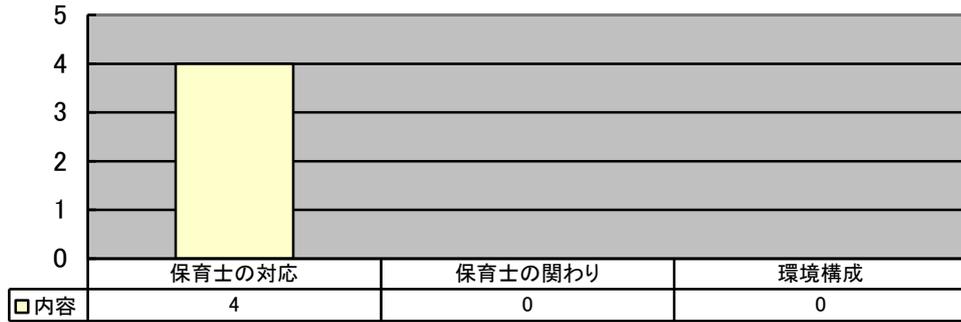


要望分類



・苦情1件が回答依頼と改善依頼の要求がありました。

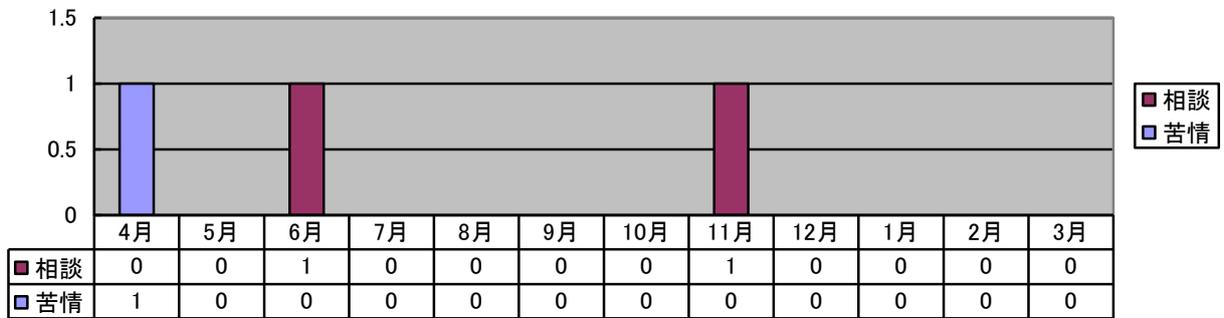
主要内容



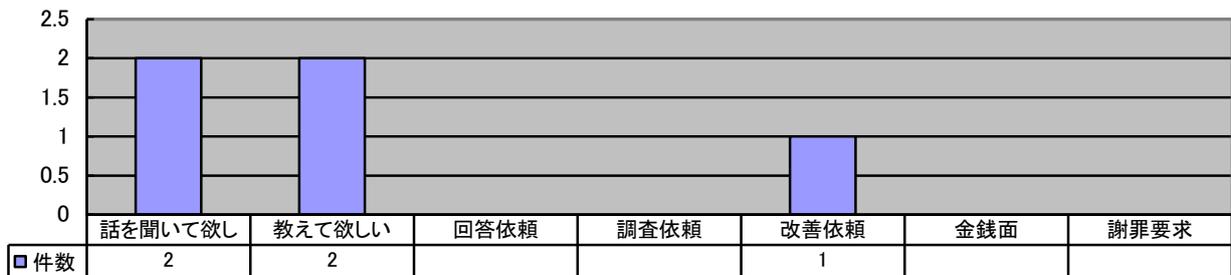
《苦情・相談結果報告》分園

苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

○報告件数・・・・・・ 3件（内苦情1件）

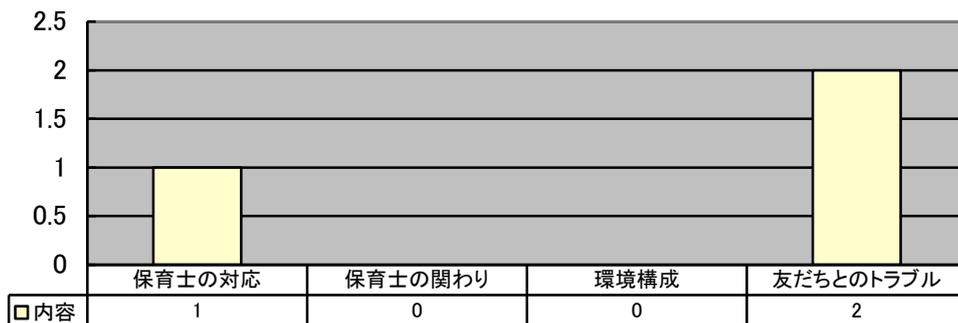


要望分類



・苦情1件が改善依頼の要求がありました。

主要内容



## ○まとめ

苦情は園長が対応した場合と定義している。

保育士のちょっとした配慮不足や伝達不足などが、保護者を不安にさせてしまったと考えられる。細かいことにも、もっと配慮できるようスキルアップを図りたい。

行事予定については掲示板に1年間掲示するなど保護者に分かりやすいよう工夫・改善した。

分園は開園当初で保護者との信頼関係が築けていなかったため、こちらから積極的に声をかけるようにした。

園での様子や保育の仕方を保護者の方へ伝えるとともに、職員全員で言葉の大切さを再認識し保育していくこと伝えた。

## 13.《総括》

分園を開園し、他府県・市から移ってきた方の見学・入園が多かった。また、妊娠中に保育園探しをされている方が多くなっており、たくさんの方が園見学に来られた。

マンション住民の子育て世代の方が毎月のだいじっこくらぶに来て下さるようになり、一緒に遊んだり、育児相談したりと交流を図ることができた。今後も地域住民の方との関わりを大事にしていきたい。特に大きなトラブルはなかったが、マンション上階からの落下物等があり管理会社に報告・改善依頼を行っている。園庭にターフを張り、安全確保に努めた。

昨年度同様、保護者の就労状況がハードになっている。ご両親ともに正規職員の家庭が多い。それらに伴って、0歳児1歳児の保育時間が長くなっている。大阪勤務も増えてきているので、長時間保育（延長保育）は重要だと考えている。夕方以降安心して過ごせるよう、今まで以上に丁寧に保育していきたい。

また、保護者支援も重要課題である。育児の主体が保育園になってしまっているような現状で、子育てを保護者主体にできるよう、情報提供や相談を重ねていきたい。そして、地域での役割を果たすべく、今まで以上に受け入れ、子育て家庭支援を行ってきたい。